

2023年2月 改訂分(抜粋)

最低年齢 - CS/QS

- 所属リージョン内で CS/QS の試合に出場できる最低年齢を 12 歳から 13 歳に引き上げる。
- イベント開始時に 18 歳未満のサーファーは、親または法的後見人の同伴が必要。

チャレンジャーシリーズフォーマット

- ミッドシーズンカットで CT に入らなかった男子 12 名、女子 7 名
- 前年度 CS ランキングの上位男子 10 名、女子 5 名
- CT サーファーで CT、CS のいずれからもリクオリファイしなかった男子 3 名、女子 2 名
- WSL の 7 地域 (APAC、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ハワイ/タヒチ ヌイ、北米、ラテンアメリカ) から割り当てられた男子 49 名、女子 30 名
- 世界ジュニアチャンピオン 2 名
- 各大会で男子 5 名、女子 3 名のワイルドカード獲得者

アスリート・スポンサーシップの制限/限度

●一般的な基準

すべてのサーファーのスポンサーシップは、プロサーファーに求められる基本的な礼儀正しさにふさわしい、品格のあるものでなければならない。

制限されるスポンサーシップは、WSL のイメージや評判に悪影響を与える可能性があり、WSL を不利な立場に追いやるようなもの、あるいはコミュニティやコミュニティ内の任意のグループを侮辱したり不快にさせたり、憎しみ、虐待、わいせつまたは分断的なものなどをさす。これらを WSL が合理的にそれと見なした場合、そのスポンサーシップを禁止する。

- サーファーのアパレル、ヘッドウェア、サーフボードにつけられるすべての名前、ブランド、ロゴ、その他のマークや ID は、サイズ、場所、数に関して、WSL が合理的に決定する品格のあるものでなければならない。
- 違法とされる製品のスポンサーシップはすべて禁止。
- WADA で禁止されているタバコ、薬物、武器、アダルトグッズのスポンサーは禁止。
- WSL の書面による事前の同意がない限り、ギャンブル会社や製品のスポンサーシップは禁止(それらに関してはケースバイケースで審査するものとする)。

●ウェットスーツと水着

- ウェットスーツには、ウェットスーツを製造した会社以外のブランドマークをつけてはならない。ただし、ウェットスーツを消費者に販売することを通常業務としている会社(例: Billabong、Quiksilver、Roxy、Patagonia、Body Glove、Buell、Vissla、XCEL、AXXE、Roxy、Sistrevolution、ROARK、Outerknown、O'Neill、Hurley など) (「消費者向けウェットスーツ会社」)はその限りではない。この規則の唯一の例外は、サーファーのために第三者によるウェットスーツの製造を手配するアパレル企業(例: Lululemon)など。この場合、以下のようにそのアパレル企業のブランドマークをウェットスーツにつけることができる。(1)左胸または右胸に2インチ×2インチ以下のブランドマーク、(2)左肩または右肩に2インチ以下のブランドマーク、(3)左または右のふくらはぎに2インチ×2インチ以下のブランドマーク(3か所のブランドマークの位置例)。
- 消費者向けウェットスーツ会社のウェットスーツおよび水着で、競技中に着用されるものは、一般に販売されるそのブランドのウェットスーツおよび水着と、ブランドマークのサイズ、数、位置が一致していなければならない。ただし、サイズ、位置、数に関して、WSL が合理的に決定する品格のあるものであれば、サーファー用の消費者向けウェットスーツ会社の特別なブランドマークを含むウェットスーツと水着は、競技用ジャージから外に見えることを許可される。

●サーフボード

- サーファーは表彰台にサーフボードを持ち込んではいない。
- サーファーはヒート後のインタビューでサーフボードを持ってはいない。WSL は、ヒート後のインタビューの背景幕の真横にサーフボードスタンドを用意し、サーファーはそのスタンドにボードを置くことができ、WSL はサーフボードが放送に映るようにする。

●ヒート後のインタビューと表彰式のステージ

- 表彰式のステージで WSL のスポンサーではないブランドのボトルや缶を持つことや、帽子の着用を現在制限しているが、(1)サングラス、(2)ヒート終了後のインタビューでは、この制限を設けない。